

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年08月28日

計画の名称	清流と豊かな自然環境を守り引き継ぐ下水道事業（重点計画）													
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	鏡野町													
計画の目標	下水道整備により快適な生活環境を実現し、良好な水環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,100	A	2,100	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H31当初）	（H33末）	（H35末）
1	下水道処理人口普及率を57％（H31）から65％（H35）へ増加させる。			
	下水道処理人口普及率	57%	62%	65%
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鏡野町	直接	－	管渠（ 污水）	新設	鏡野処理区	污水管φ150mm L=8.5km	鏡野町	■	■	■	■	■	1,970		-
	A07-002	下水道	一般	鏡野町	直接	－	管渠（ 污水）	新設	鏡野処理区	調査・設計等	鏡野町	■	■	■	■	■	8		-
	A07-003	下水道	一般	鏡野町	直接	－	管渠（ 污水）	新設	奥津・川西処理区	污水管φ150mm L=0.8km	鏡野町	■	■	■			90		-
	A07-004	下水道	一般	鏡野町	直接	－	管渠（ 污水）	新設	奥津・川西処理区	調査・設計等	鏡野町	■	■	■			2		-
	A07-005	下水道	一般	鏡野町	直接	－	管渠（ 污水）	新設	鏡野処理区	污水管φ200mm L = 0.5 k m	鏡野町				■	■	30		-
										小計						2,100			
										合計						2,100			

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 鏡野町上下水道課にて実施	事後評価の実施時期 令和6年6月
	公表の方法 事後評価後、町ホームページにて公表する。
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	未普及区域の整備や集落排水区域の取込みにより下水道事業の持続性を高め、公共用水域の水質保全及び町民サービスの向上に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	集落排水区域の取込を行い、処理施設を廃したことで今後の維持管理費の削減に寄与する。
○ 特記事項（今後の方針等）	
次期社会資本整備計画（防災・安全）において下水道施設の老朽化対策を行うことにより持続的な公共用水域の保全及び衛生的な町民生活環境を提供する。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	65%	下水道区域ににおける住宅団地の増加による。
	最 終 実績値	68%	